

メモ用紙などを「ミックス ペーパー保管BOX」にた めて古紙回収（雑誌と一緒） に出してください。

家庭から出されるミックスペーパー（メモ用紙、ティッシュの箱、菓子箱はがき、ダイレクトメールなど）の多くは燃えるごみとして出されています。

町民の方がミックスペーパーの仕分けと保管をしやすいするため、全世帯へミックスペーパー保管ボックスを2月広報と一緒に配布しました。

ミックスペーパーはミックスペーパー保管ボックスにためて、たまったら紙袋、封筒などに入れて雑誌と一緒に束ねて、古紙回収に出してください。

また、防災無線、ケーブルテレビ、岩美町ホームページでもお知らせをしますのでミックスペーパーの古紙回収にご協力をお願いします。

（参考）平成23年度調査結果による平均値

ごみ袋1袋のごみの重さ	約5kg
ごみ袋1袋に含まれるリサイクルできる紙の重さ	約1kg
保管ボックス配布全世帯（4,250世帯）で取り組みをした場合の可燃ごみの中の紙の削減量	年間約400t

（注意）

※紙製品でも、以下のものはミックスペーパーに混ぜないでください。

●粘着物の付いた封筒 ●ビニールコート紙 ●油紙 ●写真 ●合成紙 ●防水加工品（紙コップ、紙皿） ●捺染紙（主にアイロンプリント紙） ●感熱発泡紙（点字用紙等） ●感熱紙（レシート等） ●カーボン紙 ●臭いのついた紙など



米子ソウル便を 利用して



米子ソウル便は、山陰唯一の国際定期路線として平成13年4月に就航以来、観光、ビジネス、国際交流など幅広い分野で利用されています。

また、就航12年目を迎える今日では、地域・県民にとってなくてはならない存在です。

山陰両県の官民30団体で構成される「山陰国際観光協議会 国際定期航路利用促進委員会」では、米子ソウル便の利用者を増やすため様々な取り組みを行っています。

米子から世界へ

最近、米子ソウル便を利用して仁川経由で第三国へ行く旅行者が増加しています。“米子から世界へ！”の時代到来です。米子からハワイ、バンコク、サイパンなど世界の都市へ行くことができ、11月からは新たにウラジオストクも加わりました。第三国行きの旅行商品も少しずつ種類が増えていきますので、この機会にぜひご利用ください。

お問い合わせ先：山陰国際観光協議会 国際定期航路利用促進委員会事務局
（鳥取県文化観光局国際観光推進課内）

☎0857-26-7221

米子発世界行きホームページ：http://www.yonago-seoul.com/